

令和8年度 第2学年 社会科 年間指導計画 予定年間授業時数： 105時間

使用教科書：【歴史分野】 帝国書院『中学生の歴史—日本の歩みと世界の動き』

【地理分野】 帝国書院『中学生の地理—世界の姿と日本の国土』

使用副教材：浜島書店出版『つながる歴史』 浜島書店『アクティブ地理総合』

教科の学習目標：

- ① 歴史的事象に対する関心を高め、具体的な歴史的事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高め、様々な資料を活用して多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。
- ② 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培う。

<学習内容>

学期	学習単元	学習内容
1	<p>【地理分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本のさまざまな地域【ICT活用】 <p>【歴史分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武家政権の展開と世界の動き【ICT活用】 	<p>【地理分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の諸地域について、自然環境と産業についての関連性に注目しながら地域の特徴、特色をつかみ、多岐にわたる様々な伝統や新たな取り組みについての理解を深める。 <p>【歴史分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ諸国の海外進出によって日本へさまざまな技術・文化が伝わり、その技術を取り入れた大名によって日本が統一される過程を学ぶ。
2	<p>【地理分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の諸地域【ICT活用】 ・地域のあり方【ICT活用】 	<p>【地理分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の諸地域について、自然環境と産業についての関連性に注目しながら地域の特徴、特色をつかみ、多岐にわたる様々な伝統や新たな取り組みについての理解を深める。 ・日本の地形、気候などの自然環境、人口、産業、資源などを世界の諸地域と比較しながら、その特徴を捉え、日本が向き合う課題について考察する。
3	<p>【歴史分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武家政権の展開と世界の動き【ICT活用】 ・近代国家の歩みと国際社会 	<p>【歴史分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府の支配体制と江戸時代の産業、経済、交通、文化の発展について学ぶ。 ・江戸時代の終焉と明治時代の始まりについて具体的な事象や政策に注目し、時代の変化を捉える。

評価の観点・方法 以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと評価します。

観点（全体に対する割合）	観点の趣旨	評価資料
観点1（34%） 知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	小テスト 定期テスト
観点2（33%） 思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関係を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	定期テスト 小テスト ワークシート
観点3（33%） 主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	授業態度 振り返りシート 小テスト 調べ学習・課題提出